



# Starting port

# 新潟開港150周年

## 事業実施報告書





# Starting port

## 新潟開港150周年

### 事業実施報告書

#### 目次

<b>あいさつ</b>	2
<b>I 開催概要</b>	
基本方針	7
開催趣旨	8
取組成果・取組結果	11
<b>II 実行委員会事業</b>	
式典関係	14
みなとまちイベント	26
情報発信	84
連携事業へのサポート	106
<b>III 連携事業</b>	
新潟開港150周年パートナー事業	118
キックオフイベント 海フェスタにいがた	154
キックオフイベント 水と土の芸術祭2018	159
記念商品等の開発	160
<b>IV 関連施策</b>	
みなとまちの振興に関する施策	168
都市基盤の整備に関する施策	176
<b>V 協賛・応援</b>	
企業からの協賛	182
個人・企業等からの寄付	183
助成金等の活用	184
<b>VI 資料編</b>	
アンケート調査結果	186
取組成果の算定根拠データ	188
実行委員会について	192
<b>協賛者一覧</b>	197
<b>寄付者一覧</b>	199

## あいさつ



### 新潟開港150周年記念事業実行委員会 会長 新潟市長 中原 八一

新潟は、安政の五カ国条約により、横浜や神戸、長崎、函館の開港五港の一つとして1869年に世界に開かれ、2019年1月1日に開港150周年を迎えました。

この記念すべき節目を新しい新潟を切り拓くスタートの機会として、あらためてみなとまちの歴史や文化をふり返り、みなとまちのすばらしさや魅力を再認識し、これを国内外に向け発信していこうと3年間にわたり記念事業を展開してまいりました。

「みんなでつくる、みなとまち新潟スタート！」を合言葉に、オール新潟体制で取り組んだ結果、企業や市民団体など、多くの皆さまからご協力いただくことができました。

記念商品等の開発や各種連携イベントなどを通じ、多くの方から新潟は、「みなと」と共に発展してきたこと、そして「みなと」は、今後の新潟のさらなる発展に欠かせない存在であると感じていただけたのではないかと思います。

さらに、県内外から参加できる多彩な事業を展開してきたことにより大きな集客効果をあげるなど、交流人口の拡大にもつながりました。

記念事業の実施にあたり、実行委員会の委員の皆さまをはじめ、ご賛同、ご協力をいただきましたすべての皆さま方に心より感謝申し上げます。

「みなとまち」は、本地域共通の都市アイデンティティであり、これからも活力ある拠点都市・新潟を目指す目標像として「みなとまち新潟」を活かしたまちづくりを進めていきたいと思ひます。

## 新潟開港150周年記念事業実行委員会

### 名誉会長 新潟県知事 花角 英世



新潟港は、開港五港の一つとして佐渡夷港とともに明治元年に開港いたしました。以来、幾多の難局を乗り越えながらも着実に整備を進め、2019年1月1日に開港150周年を迎えました。

この記念すべき節目を新しい新潟を切り拓くスタートの機会とし、みなとまち新潟がさらに発展していくため、新潟開港150周年記念事業実行委員会の委員の皆さまをはじめ、企業や市民団体など500を超える機関の皆さまからご協力いただき、3年間にわたり記念事業を行ってまいりました。

その結果、交流人口の拡大はもとより、拠点性向上やまちづくりの推進につながる官民一体となった取り組みを進めることができました。盛り上げにご賛同、ご協力をいただいた皆さまへ心より感謝申し上げます。

新潟開港150周年は、新潟港発展の歴史に思いをはせるとともに、新潟の豊かな自然や多様な地域資源、恵まれた農林水産資源や食文化などを国内外に発信する絶好の契機となりました。

今後とも、北東アジアの玄関口として港や空港の機能向上を図りながら、新潟の魅力を磨き上げ、県民の皆さまが新潟を誇りに思い、住み続けたいと思える新潟、国内外の皆さまが訪れてみたいと感じていただける新潟となるよう取り組んでまいります。

Starting port

# 新潟開港150周年



みんなでつくる、みなとまち新潟